

おごおりの あらし

小郡市の概要
データボックス
小郡市のあゆみ



小郡市の概要

位置と地勢

本市は、福岡県の南部、筑紫平野の北、佐賀県との県境に位置しています。南東を大刀洗町と久留米市、西は佐賀県、北東は筑紫野市と筑前町に接しています。東西6キロメートル、南北12キロメートルにわたる区域で、総面積は45.51平方キロメートルあります。

東北の台地には標高130.6メートルの花立山があり、西北丘陵地帯は、なだらかな丘陵が連なりため池が点在しています。

また、市の中央部を南北に貫流する宝満川を挟んで、西側に住宅地帯、東側に田園地帯が広がっています。



沿革

本市の歴史は古く、弥生時代の三沢遺跡や花立山古墳群をはじめとした数多くの遺跡・古墳などが散在し、日本書記に「筑紫小郡」と記されています。筑前、筑後、肥前の境界に位置し、大宰府にも近く、古くから交通の要衝であり、奈良時代には「御原郡衙(小郡官衙(かんが))」が置かれました。江戸時代には「薩摩街道」「彦山道」などが松崎周辺を通過し、宿場町として栄えました。

明治時代に国道3号、国鉄鹿児島本線などの近代的交通網からはずれましたが、大正13年には西鉄大牟田線の福岡-久留米間が開通しました。

明治22年、町村制の施行により味坂村、小郡村、御原村、立石村、三国村が誕生。

昭和28年、小郡村は小郡町となり、昭和30年に小郡町、味坂村、御原村、立石村、三国村の1町4村が合併し、小郡町となりました。

そして、人口急増により昭和47年に市制を施行し、その後も、市北部の住宅開発などにより人口の増加が続き現在に至っています。

交通条件

市域を九州自動車道と大分自動車道の二つの高速道路が通り、市内に筑後小郡インターチェンジがあります。鳥栖ジャンクションまでもすぐの距離にあり、短時間で広範囲の都市との連絡が可能です。

また、市内を東西に走る国道500号を中心として、縦横に県道や市道などの生活道路が張り巡らされています。

鉄道は、西鉄天神大牟田線が市域を南北に貫き、小郡駅をはじめ7つの駅があり、東西に通じている甘木鉄道では5つの駅があります。

県都福岡市へは鉄道で30分の距離にあり、交通の便がよい都市です。

産業

農業は、本市の基幹産業ですが、農業を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。

農業を持続的に発展させるため農業の担い手育成と確保のほか、地産地消の推進、産地銘柄の確立及び6次産業化の推進が課題です。

商業は買い物客の市外流出や高齢化などに対応するため、西鉄小郡駅前の商業地の活性化や農業や観光などと連携した活性化に取り組んでいます。

工業は、筑後小郡インターチェンジ周辺、主要地方道久留米筑紫野線沿線及び鳥栖ジャンクション周辺を中心に事業所が立地しています。交通利便性に優れた地域であることから、特に物流拠点としての立地が期待されています。

観光は、将軍藤や味坂のポピー、花立山など四季折々の豊かな自然と豊富な埋蔵文化財など、自然資源や歴史資源と連携した観光振興に期待が寄せられています。

市名「小郡」の由来

「筑後小郡」の名は、持統天皇3年(689年)6月、新羅の使者金道那(こんどうな)を「饗応した」客館として日本書記にみられます。

小郡市は、往古の筑紫平野の北に位置し、大宰府に近く、博多へ通じる交通の要衝を占め、小郡市中心部(向築地)からは当時の官衙跡が発掘され「小郡官衙遺跡」としての国の指定を受けています。その軍事的・地理的特殊性から地方官庁所在地として小郡の名が残り、今に伝えられています。

市の木・花・鳥

昭和57年、市政施行10周年を記念して制定

市の木 くすのき

水と緑、豊かな自然を象徴するかのよう、大地にしっかり根を張りたくましくのびています。

市勢の発展、伸びゆく小郡市の力強さ、たくましさを強く感じさせる木です。



市の花 ふじ

福童の大中臣神社にある県指定天然記念物「将軍藤」は、小郡市のシンボルとして親しまれています。樹齢650年以上、根元周囲は3メートルに及び、開花時には見事な淡い紫色の花を咲かせる上品で優雅な花です。



市の鳥 しらさぎ

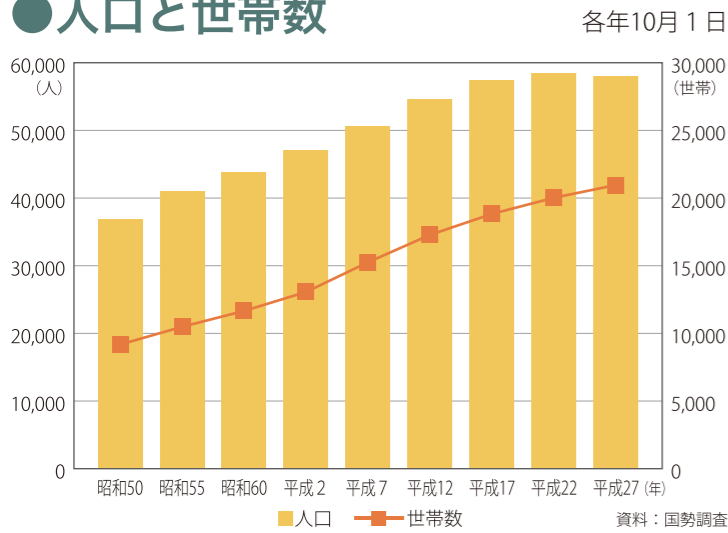
小郡音頭にもうたわれ、市内随所に飛び交っています。

群れをなして飛ぶ光景は情緒があり、田園都市としての市の発展を見守っているようです。

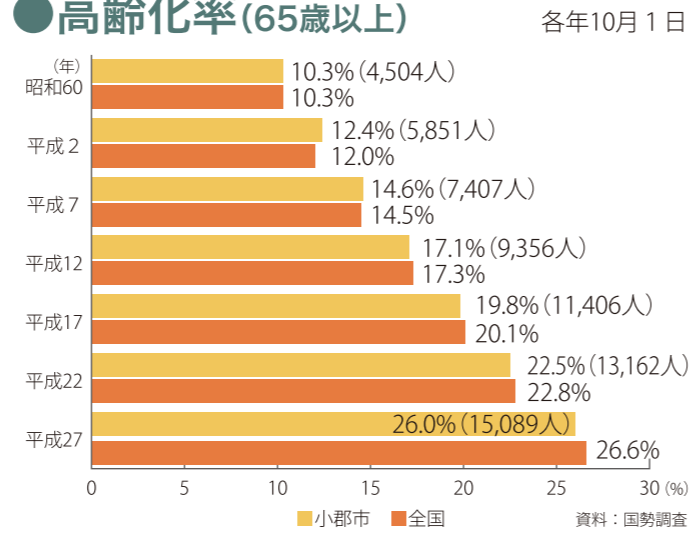


人口

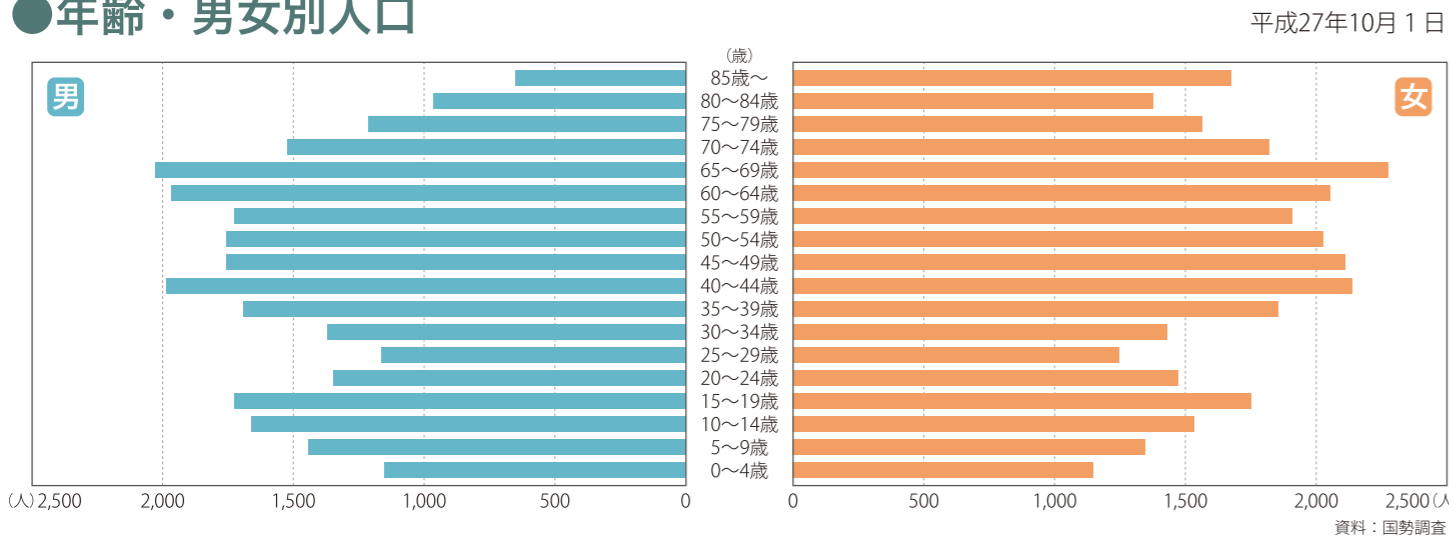
●人口と世帯数



●高齢化率(65歳以上)

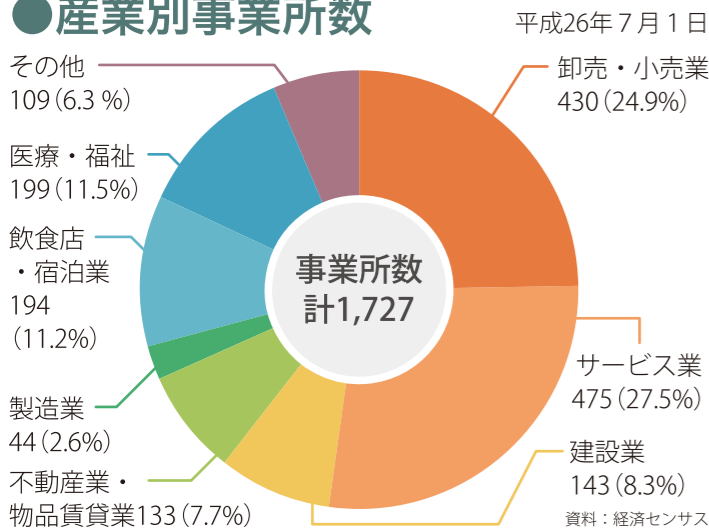


●年齢・男女別人口

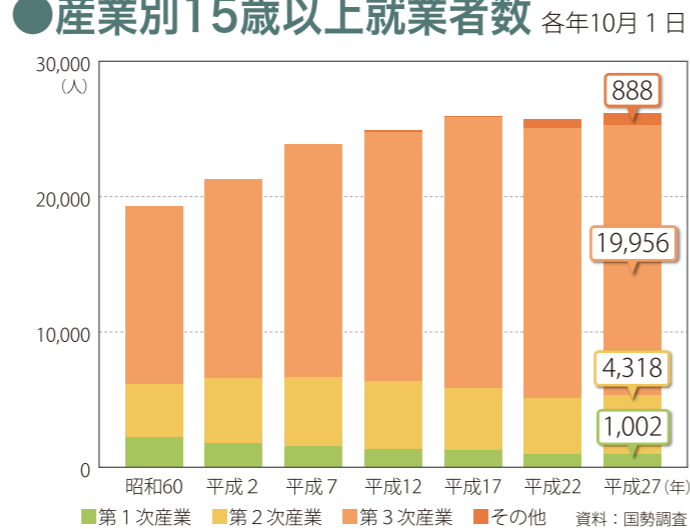


事業所・企画

●産業別事業所数

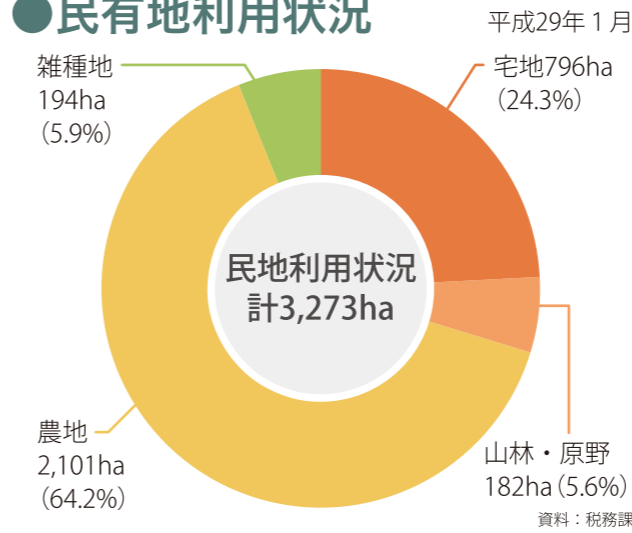


●産業別15歳以上就業者数



土地

●民有土地利用状況



●都市計画区域・用途地域面積

平成29年10月

都市計画区域	面積 (ha)
都市計画区域	4,551
市街化区域	792
市街化調整区域	3,759

用途地域	面積 (ha)
用途地域	792
第1種低層住居専用地域	273.4
第2種低層住居専用地域	8.0
第1種中高層住居専用地域	231.1
第1種住居地域	240.2
近隣商業地域	15.9
商業地域	18.1
準工業地域	5.3

資料：都市計画課

防災・防犯

●救急出動件数

単位：件 各年1月1日～12月31日

年	総数	火災	自然災害	水難	交通事故	労働事故	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成24	1,985	7	0	1	150	20	16	278	4	21	1,144	344
平成25	2,040	2	1	4	170	19	13	244	6	22	1,189	370
平成26	2,163	0	0	0	172	19	20	305	9	15	1,223	400
平成27	2,273	2	0	1	175	14	27	352	8	11	1,303	380
平成28	2,359	0	0	3	166	24	19	338	8	15	1,392	394

資料：久留米広域消防本部

●火災の発生件数

単位：件 各年1月1日～12月31日

年	総数	建物	林野	車両	その他
平成24	26	16	0	6	4
平成25	15	8	0	3	4
平成26	14	4	0	4	6
平成27	17	9	0	3	5
平成28	13	6	0	4	3

資料：久留米広域消防本部

●刑法犯・街頭犯罪認知件数

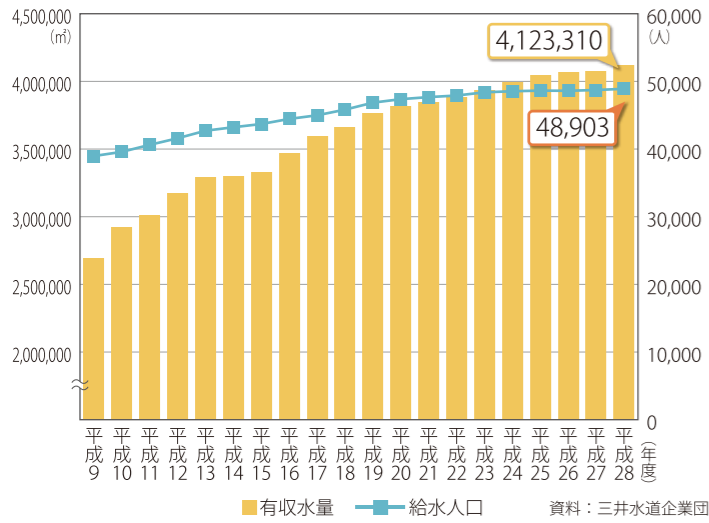
単位：件 各年1月1日～12月31日

年	刑法犯						街頭犯罪
	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他	
平成24	1	17	352	16	10	101	259
平成25	1	26	417	8	3	63	284
平成26	6	9	311	7	9	55	210
平成27	0	11	264	19	9	56	191
平成28	1	17	200	18	4	49	123

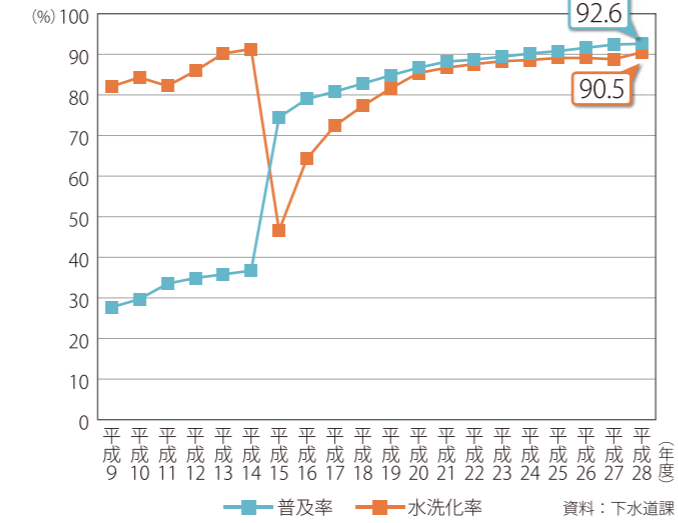
資料：福岡県警察犯罪統計

上下水道

●水道の有収水量 各年度4月1日～3月31日



●下水道の普及状況 各年度3月31日



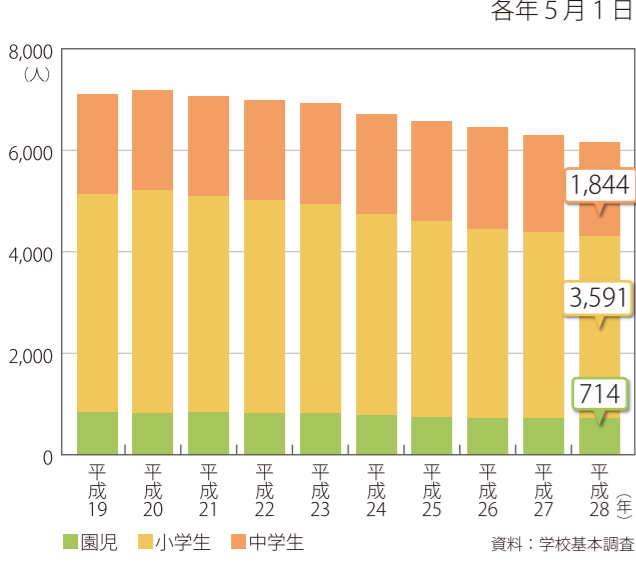
子ども

●施設数 平成28年度

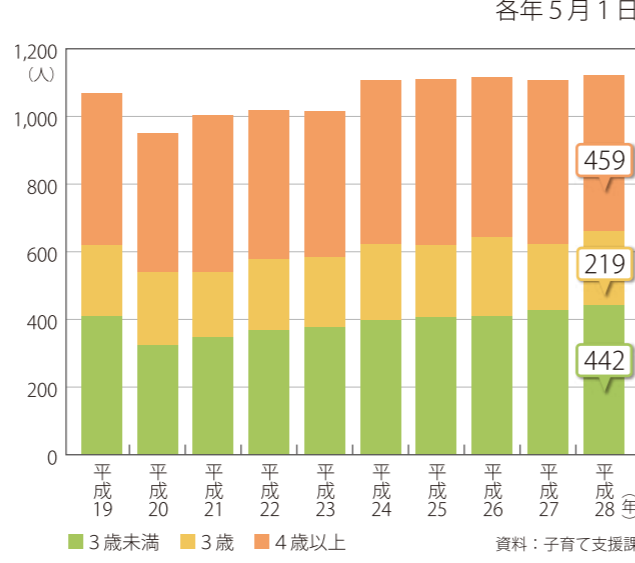
	総数	公立	私立
保育所	13	3	10
幼稚園	5	2	3
小学校	9	8	1
中学校	5	5	0
高等学校	2	2	0



●幼稚園児・小学生・中学生数 各年5月1日

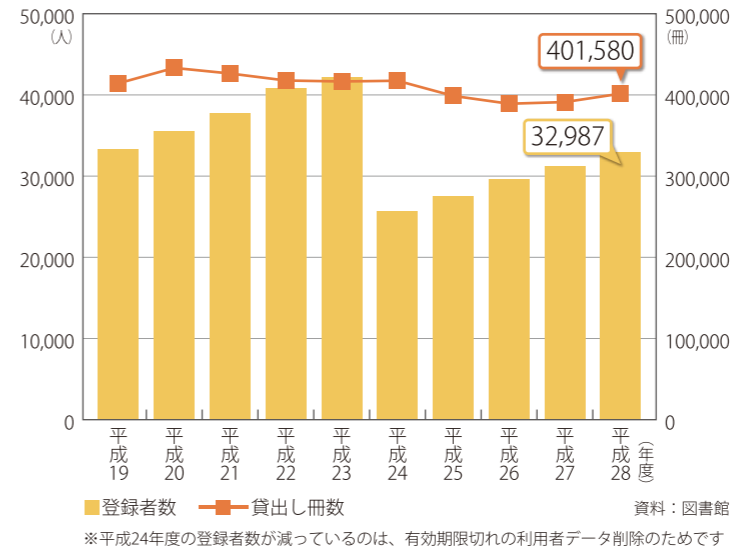


●保育所園児数 各年5月1日



文化

●図書の貸出状況



福祉

●医療施設 平成26年10月1日

総数		病院		診療所		歯科
施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	
102	1,301	8	1,143	58	158	36

資料：福岡県統計年鑑

●介護保険の給付状況 単位：千円 平成28年度

施設サービス費	居宅サービス費	地域密着型サービス費	その他	計
1,238,923	1,243,108	670,816	350,344	3,503,191

資料：介護保険課

●要介護度別要介護認定者数 単位：人 平成28年度

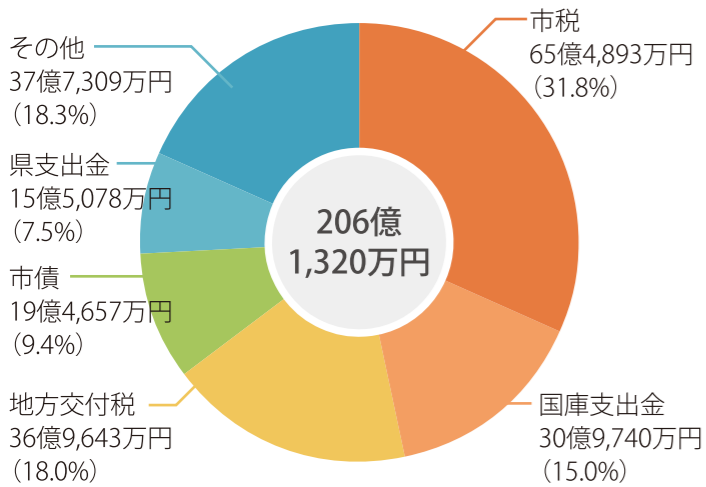
要介護認定者数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
2,492	556	388	495	334	238	316	165

資料：介護保険課

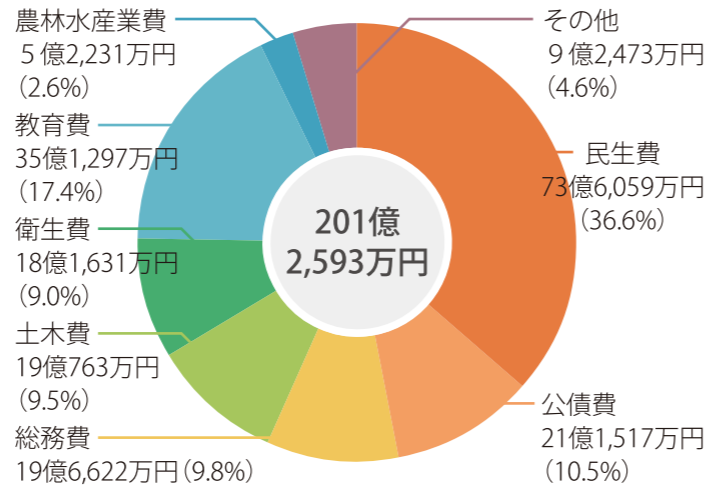
行財政・議会

●一般会計決算額

《歳入》



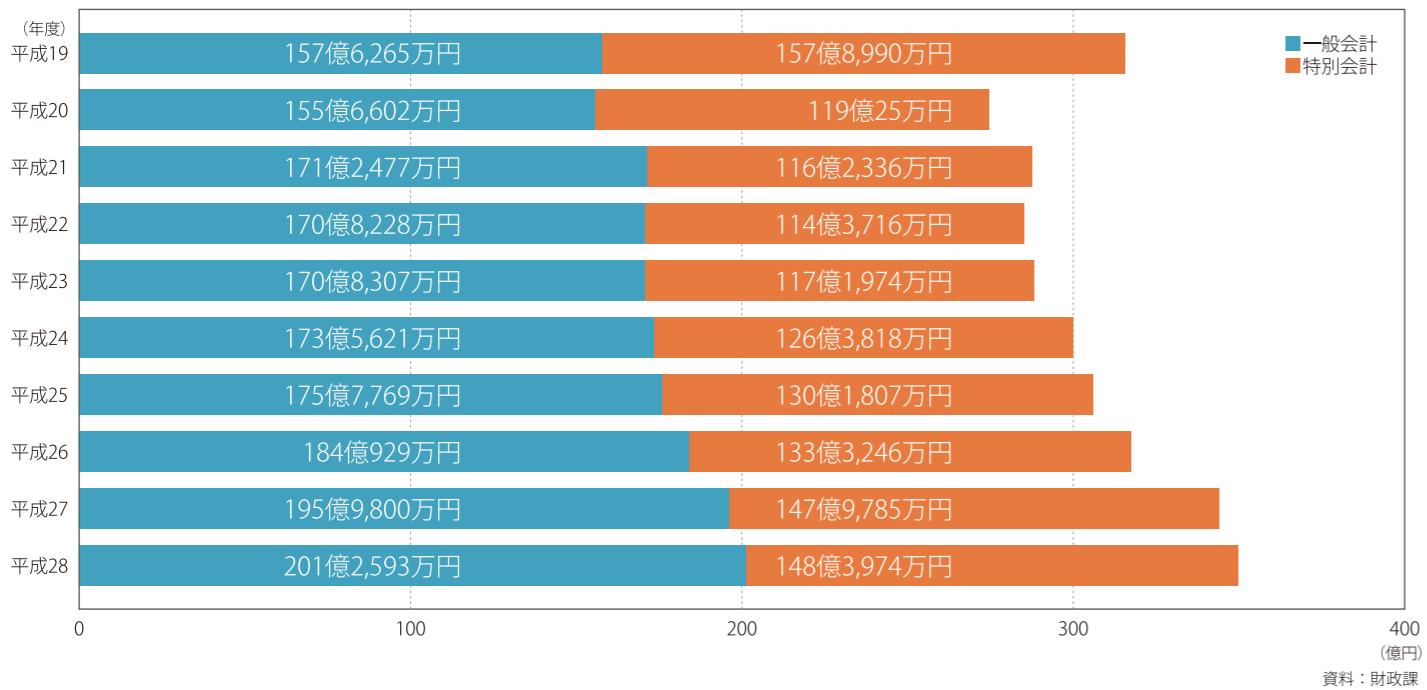
《歳出》



平成28年度

資料：財政課

●決算規模(歳出額)



資料：財政課

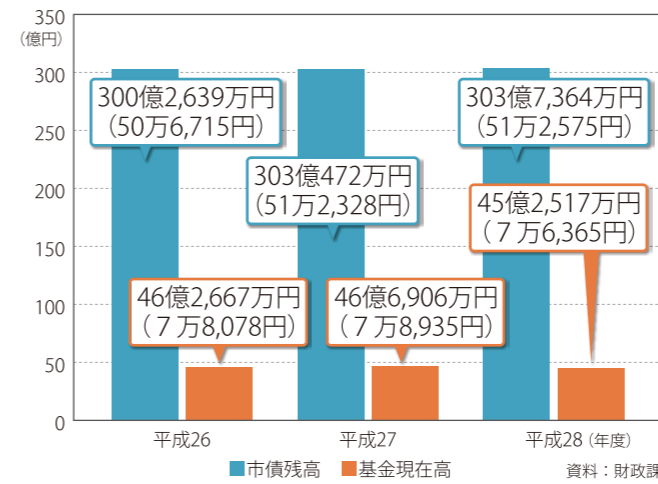
●財政主要指数

平成28年度

経常収支比率	財政力指数	健全化判断比率			
		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
97.1	0.66	0	0	12.2	64.3

資料：財政課

●市債残高・基金現在高



※カッコ内は、市民一人当たりの額です

資料：財政課

●市議会の開催状況

各年1月1日～12月31日

年	招集回数		本会議日数		委員会日数		議員定数	議員現員数
	定例	臨時	定例	臨時	常任	特別		
平成19年	4	0	21	0	16	12	20	20
平成20年	4	1	21	2	14	15	20	20
平成21年	4	1	21	1	14	13	20	20
平成22年	4	1	21	1	17	19	18	18
平成23年	4	0	23	0	12	13	18	18
平成24年	4	2	23	2	12	25	18	18
平成25年	4	0	23	0	14	21	18	18
平成26年	4	1	22	1	13	20	18	18
平成27年	4	1	23	1	13	22	18	17
平成28年	4	1	20	1	13	21	18	17

資料：議会事務局

●職員数の推移

単位：人 各年4月1日

年度	人口	職員数	職員1人当たり人口
平成16年	57,173	380	150
平成19年	58,500	356	164
平成22年	58,963	336	175
平成25年	59,303	334	178
平成28年	59,151	339	174

資料：人事秘書課

市制施行以前の歴史

約2000年前 (弥生時代中期)	大板井遺跡(大集落)、小郡若山遺跡(多鈕細文鏡)
4世紀ごろ(古墳時代)	横隈狐塚遺跡(共同墓地)
	津古生掛古墳、三国の鼻1号墳(前方後円墳)
	津古1・2号墳(前方後円墳)
6世紀ごろ(古墳時代)	三国丘陵・花立山麓に群集墳
7世紀ごろ(白鳳時代)	上岩田・井上に大寺院
8世紀ごろ(奈良時代)	小郡官衙遺跡(郡役所)
1359年(室町時代)	大保原合戦
1374年(室町時代)	福童原の戦い
1624年(江戸時代)	石井堰築造(干潟)
1647年(江戸時代)	稲吉堰築造
1668年(江戸時代)	有馬豊範に松崎藩1万石を分知、松崎宿設置
1673年(江戸時代)	津古堰築造
1754年(江戸時代)	宝暦の農民一揆
1772年(江戸時代)	大板井堰築造
1848年(江戸時代)	端間堰築造
1874年(明治7年)	松崎郵便取扱所設置、小郡郵便取扱所(のちの小郡郵便局)設置
1877年(明治10年)	乙隈彼岸土居の戦い
1889年(明治22年)	味坂村、小郡村、御原村、立石村、三国村が成立
1914年(大正3年)	松崎実業女学校(のちの三井高等学校)開校、送電開始(小郡)
1916年(大正5年)	高松凌雲没(日本赤十字運動の祖)
1921年(大正10年)	中央軌道松崎～小郡開通
1924年(大正13年)	九州鉄道(のちの西日本鉄道)福岡～久留米開通
1939年(昭和14年)	国鉄甘木線開通
1947年(昭和22年)	大原中学校、立石中学校、宝城中学校開校
1948年(昭和23年)	三国保育所開所、消防団設置
1953年(昭和28年)	筑後川大水害、保安隊小郡駐屯地設立、御原保育所開所、小郡村が町制施行し小郡町へ
1954年(昭和29年)	城山公園開園
1955年(昭和30年)	小郡町発足(一町四村合併)
1961年(昭和36年)	商工会(町)設立
1962年(昭和37年)	町役場新築移転(現在地)
1963年(昭和38年)	宝満川大水害
1964年(昭和39年)	農業協同組合(町)設立
1967年(昭和42年)	福岡小郡電報電話局開局
1968年(昭和43年)	体育協会(町)結成、社会福祉協議会(町)認可
1971年(昭和46年)	学校給食センター完成、小郡官衙遺跡国史跡指定



小郡官衙遺跡



大保原合戦



松崎宿場跡



小郡郵便局



小郡町庁舎



昭和46年ごろの西鉄小郡駅

小郡市の歴史

1972年(昭和47年)	市制施行、小郡幼稚園開園、大原小学校開校、三井消防署開署、第1回市民花火大会
1974年(昭和49年)	市体育館完成
1975年(昭和50年)	三国幼稚園開園、大板井橋開通
1976年(昭和51年)	柔剣道場完成
1977年(昭和52年)	三井水道企業団設立、市民館(隣保館)完成、弓道場完成
1978年(昭和53年)	第1回市民まつり
1979年(昭和54年)	大崎教育集会所完成、小郡養護学校(のちの小郡特別支援学校)開校
1980年(昭和55年)	小郡中学校開校、老人福祉センター完成
1982年(昭和57年)	大崎保育所開所、市の木「くすのき」・花「ふじ」・鳥「しらさぎ」制定
1983年(昭和58年)	市青少年育成市民会議発足
1984年(昭和59年)	宝満環境センター完成、小郡高等学校開校、「非核恒久平和都市」宣言
1985年(昭和60年)	埋蔵文化財調査センター完成
1986年(昭和61年)	小郡地区コミュニティセンター(健康センター)完成、甘木鉄道(旧国鉄甘木線)第3セクター開業
1987年(昭和62年)	九州横断自動車道開通、筑後小郡インター完成、小郡市市歌発表、小郡市民ふれあい広場(文化会館、市立図書館、野田宇太郎文学資料館、文学散歩公園)完成、甘木鉄道「大板井駅」開業
1988年(昭和63年)	宝満川浄化センター完成、三井消防署三国出張所開所
1989年(平成元年)	大原リハビリセンター完成、第1回野田宇太郎生誕祭、七夕通り(原田駅大崎線)一部開通
1990年(平成2年)	小郡三井医師会休日診療地域医療センター完成、小郡警察署開署、第1回小郡市文化祭
1991年(平成3年)	シルバー人材センター設立、東野小学校開校、味坂校区公民館完成、ニタ集会所完成、きらめきの塔設置(西鉄小郡駅前広場)、生涯学習推進センター開設、みい農協発足
1992年(平成4年)	東野地域運動広場完成、西鉄三国が丘駅開業、学童保育所開設開始
1993年(平成5年)	御原校区公民館完成、御原教育集会所完成、七夕会館完成、河北苑完成、干潟地区工業団地分譲開始、第1回小郡市民音楽祭(のちの小郡音楽祭)
1994年(平成6年)	陸上競技場完成、三国中学校開校、第1回小郡市民ふれあい運動会
1995年(平成7年)	小郡地域運動広場完成、野球場(小郡運動公園)完成、たなばた地域運動広場完成、宝満ふれあいセンター完成、くろつち会館完成



市制施行行事



簡保レクセンター



小郡市民ふれあい広場



市民祭り七夕さん



三国が丘駅



小郡運動公園

小郡のあゆみ



七夕通り(原田駅大崎線)全線開通



総合保健福祉センター
「あすてらす」



コミュニティバス



クリーンヒル宝満



九州歴史資料館



小郡市観光大使
オリリン・ヒコリン

- 1997年(平成9年) 小郡駅前土地区画整理事業完成
- 1998年(平成10年) 「リサイクル推進都市」宣言
- 1999年(平成11年) 上岩田地区工業団地分譲開始、のぞみが丘小学校開校、のぞみがおか生楽館開館
- 2000年(平成12年) 子育て支援センター開設
- 2001年(平成13年) 市男女共同参画社会推進審議会発足、市観光協会発足、おごおり国際交流協会発足
- 2002年(平成14年) ふれあい館三国開館、甘木鉄道「今隈駅」開業
- 2003年(平成15年) 甘木鉄道「大板井駅」高架駅開業
- 2004年(平成16年) 七夕通り(原田駅大崎線)全線開通、総合保健福祉センター「あすてらす」完成、サービスセンター運用開始、コミュニティバス運行開始、生涯学習センター(旧七夕会館)開館、第1回あすてらすフェスタ
- 2005年(平成17年) 小郡交流センター(旧老人福祉センター)開館、人権教育啓発センター(旧健康センター)開館、古代体験館おごおり(埋蔵文化財調査センター増築)開館
- 2006年(平成18年) 高齢者社会活動支援センター開館
- 2007年(平成19年) 立石小給食調理施設竣工、ひまわり館東野開館
- 2008年(平成20年) クリーンヒル宝満竣工、福童浄化センター供用開始
- 2009年(平成21年) 小郡市消防団特別表彰「まとい」受章
- 2010年(平成22年) 人権のまちづくりふれあい公園完成、九州歴史資料館開館
- 2011年(平成23年) 大保・今隈10号線供用開始、小郡市教育センター開館、二森・八坂34号線開通
- 2012年(平成24年) 端間駅東側駅前広場供用開始
- 2013年(平成25年) 新端間橋・満天橋開通
- 2014年(平成26年) 都市計画道路本郷・基山線開通
- 2015年(平成27年) 市庁舎本館耐震工事、小郡市観光大使オリリン・ヒコリン誕生
- 2017年(平成29年) 大原きぼうの森館開館、県道久留米小郡線開通

発行日 平成29年11月

編集・発行 小郡市総務部総務課広報統計係

〒838-0198 福岡県小郡市小郡255番地1

TEL 0942-72-2111(代)

ホームページ <http://www.city.ogori.fukuoka.jp/>